

令和6年度 第2回 朝日丘地域会議 会議録

■日 時 令和6年6月13日(木) 午後6時30分～7時30分

■場 所 朝日丘交流館 2階 21会議室

■出席者 <委 員> 日高 博憲 春日井 輝政 北垣 啓子
北村 親樹 塩谷 耕一 鈴木 哲也
都築 正孝 永田 達也 縄村 恵子
日高 克二 深井 弘司 山本 チエ子
永山 哲
<事務局> 杉浦 智文(挙母事務所長) 塚田 征弘(地域支援課担当長)
田中 和香(地域支援課書記)

■欠席者 <委 員> 大岩 高也

■次 第 1 開会
2 会長あいさつ
3 地域課題について
(1) 地域課題解決事業の流れ
(2) グループワーク
4 閉会

■議 事

3 地域課題について

グループに分かれ、朝日丘地区の地域課題について協議を実施した。

<A グループ>

- ・自然災害：災害、水害が少なく、恵まれている地域だが、逆に防災意識が低く、訓練等の参加者も少ない。
- ・交通安全：抜け道を走る車も危険。見守り隊の後継者がいない。
- ・防犯：駅に近く、人も多いため盗難が多い。
- ・地域：祭りを中心に美術館や博物館等がある。人口の増加もあり、新しく来た人とのつながりが少ない。

<B グループ>

- ・良い点：自治区の中での活動が継続的に行われており、地域の防犯パトロールも実施されており、住みやすい地域。
- ・交通ルール：工場も近くにあり、30キロゾーンが守られていない。中学生が自転車で右側走行している場合もある。交叉点内の信号無視等で歩行者の横断を妨げている。
- ・地域：自治区同士の交流が少ない。高齢者も多く、自治区イベントへの参加者も少ない。

<C グループ>

- ・防犯：朝日丘高齢者も多く、詐欺等犯罪もある。交番が一つしかない。
- ・防災：浸水の恐れがある場所が避難所となっていたりする。防災備蓄への不安。

- ・文化芸術：朝日丘にある美術館や博物館のさらなる活用。
- ・生活：交通が不便。スーパーが近くにない。
- ・交通：取り締まり等、狭いところでスピードが出ていて危険。通学路が狭い。
- ・地域：外国人も増え、多様化していく豊田市を受け入れていけるか。

グループワーク後、今後の地域会議の進め方について協議をし、次回は今回のグループワークで出た課題に対して理解を深め、昨年度までの委員の方々が協議していた内容を含め、こういった課題に着目してくか検討する。

(終了)